

平成30年10月4日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	農振協と地域プロジェクトとの関連性を明確にし、より強化！ ～農振協がしっかりと進行管理～
-----	---

(ダイジェスト)

管内の農林業振興を図るため、関係機関で石西地域農林振興協議会（以下、農振協）を組織し、計画的に活動を行っていますが、その一方で県の活性化計画に基づく地域プロジェクト（以下、地域PJ）を立ち上げ、戦略的な取り組みも行っています。これまで両者の活動や取り組みは別々に進行管理されてきましたが、今後は農振協が地域PJを含めた地域共通の課題に取り組み、進行管理していくことになりました。

当管内では平成28年度から課題を絞り込んだ地域PJを5本（*1）立ち上げ、関係機関一丸となって取り組んできていますが、5つの地域PJ全体を議論する機会がありませんでした。その一方、農振協は当該予算に関わる協議・報告が主体となり、本来の主目的である「地域農林業の振興及び地域農林業振興計画の進行管理」、特に“地域農林業振興計画の進行管理”が十分に行われていませんでした。

こうしたことから、関係機関で協議した結果、次のとおり整理して、農振協で地域PJも含めた取り組みを行い、進行管理していくことにしました。

地域農林業振興計画＝地域全体の共通課題
＝重点課題（地域PJ）＋一般課題（地域PJ以外）

これについて先月26日に開催された農振協の幹事会で説明し、今後は総会、幹事会、専門部会（5部会）がしっかりと機能し、共通課題の早期解決に向け、今まで以上に取り組んでいくことを確認しました。

また、地域プロジェクトを進行管理する中で「今後、重点的に取り組むべき項目（*2）」と喫緊の課題である「水田を活用した園芸振興」への取り組みについても確認し合い、スピード感をもって向かっていくことにしています。

当事務所は農振協の事務局を担っています。職員はその意識を常に持ち、その目的達成のためにしっかりとマネジメントしていきたいと考えています。

* 農業・農村関係：5本、森林・林業関係：2本

* 産地ビジョンづくり、GAPの推進、地域ぐるみでの鳥獣害対策、原木の増産